

III

本市農林水産業における 概要及び現状と課題

本市農林水産業における概要及び現状と課題

農業

概要

本市は、平野部、中山間部の広い範囲にわたり水稲・野菜・果樹・畜産などの多彩な農業が営まれています。

なかでも、「おおば」、「にら」、「みつば」、「水耕せり」などの施設野菜は、全国でも有数の産出額を誇る農産物となっており、雇用労働力を生かした法人化による大規模な企業の経営を実践する農業者も多く、地域に密着した農業として発展しています。

さらに、消費地に近い立地条件を生かし、高齢農業者、女性農業者等による直販所の運営、農産物の加工・販売、朝市などの活動や都市住民と農業者が一体となった農村の自然環境を守る取組が行われています。

現状及び課題

- ◆ 農業者の減少と高齢化により、後継者などの担い手不足が加速するとともに、農地の減少や荒廃化、有害鳥獣*による農作物被害の増大及び生産意欲の低下など農業を取り巻く環境は更に厳しさを増しています。そのため、本市農業の担い手を地域で育むとともに、生産基盤の強化と農地の利用集積によるコスト低減を推進し、農業者の所得向上や競争力のある産地の拡充を図ることが必要です。
- ◆ 農業者の高齢化による農村コミュニティの維持が困難となりつつあり、農業の有する食の安定供給、地域資源の維持、伝統文化の継承、水源のかん養など、多面的機能の低下が懸念されます。そのため、農業者をはじめ市民が一体となり、農地などの地域資源を確実に次世代へ継承していく取組が必要でです。
- ◆ 人口減少社会の到来による食に関する市場規模の縮小が懸念される中、社会構造やライフスタイルの変化による米消費の減少など農産物に対する消費者ニーズの多様化、高度化のさらなる進展が予測されます。そのため、消費者ニーズに的確に対応するため、農商工の連携も図る中で、地域の特性を最大限に生かし、個性ある農産物や産品づくりも推進していくことが必要です。

(1) 認定農業者*及び認定新規就農者*数

(平成28年3月末現在)

	野菜	花き	畜産	果樹	普通作	その他	計
認定農業者数	82	9	18	5	9	43	166
うち法人	28	2	10	0	4	6	50
認定新規就農者数	6	0	0	0	1	0	7

資料：大分市

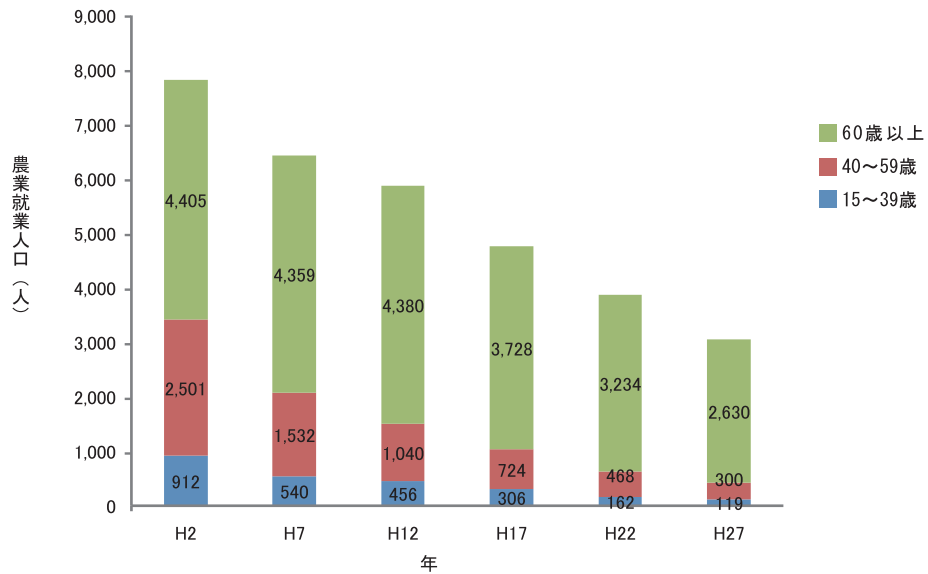
(2) 大分市主要農産物の生産状況

(平成28年3月末現在)

	面積 (ha)・頭数 (頭)	生産量 (t・頭)	産出額 (千円)
おおば	21.0	544.9	1,725,158
にら	34.0	1,821.3	883,193
みつば	6.3	649.0	399,389
いちご	4.9	189.1	196,633
水耕せり	2.4	143.2	134,931
パセリ	1.6	52.8	47,482
ピーマン	1.0	72.5	25,199
乳用牛(生乳)	1,005頭	9,023.0	977,562
肉用牛(和牛子牛)	—	160頭	106,740
” (雑子牛)	—	588頭	108,632
計	—	—	4,604,919

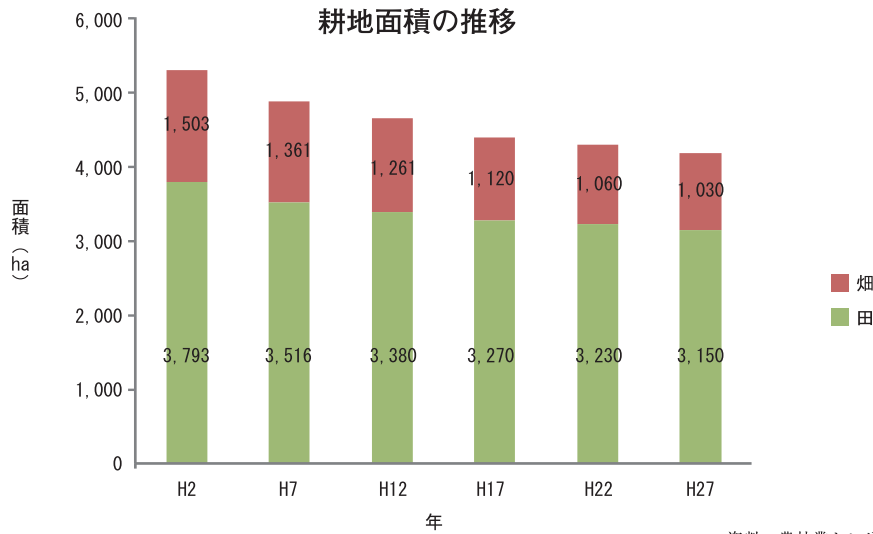
資料：大分市

販売農家における農業就業人口の推移



資料：農林業センサス

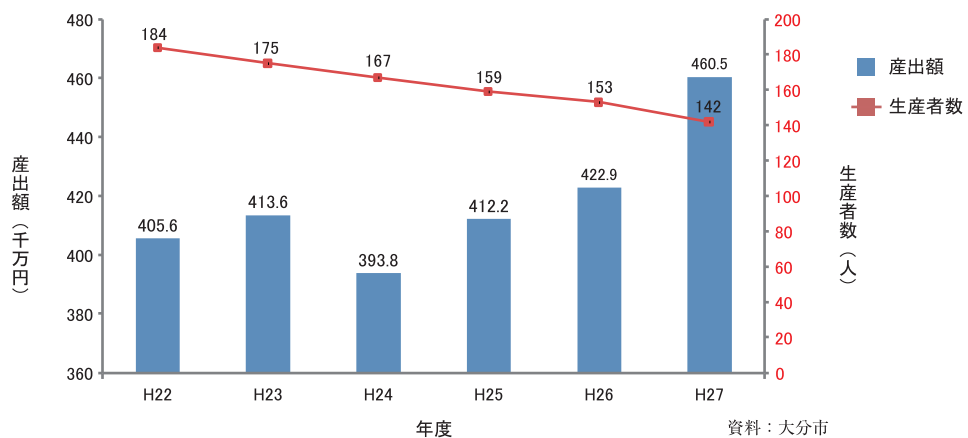
耕地面積の推移



資料：農林業センサス

主要品目の産出額及び生産者数の推移

(主要品目：おおば、にら、みつば、いちご、水耕せり、パセリ、ピーマン、生乳、肉用牛)



資料：大分市

農林水産業振興
基本計画とは

農林水産業を
取り巻く情勢

本市農林水産業における
概要及び現状と課題

計画の基本的視点

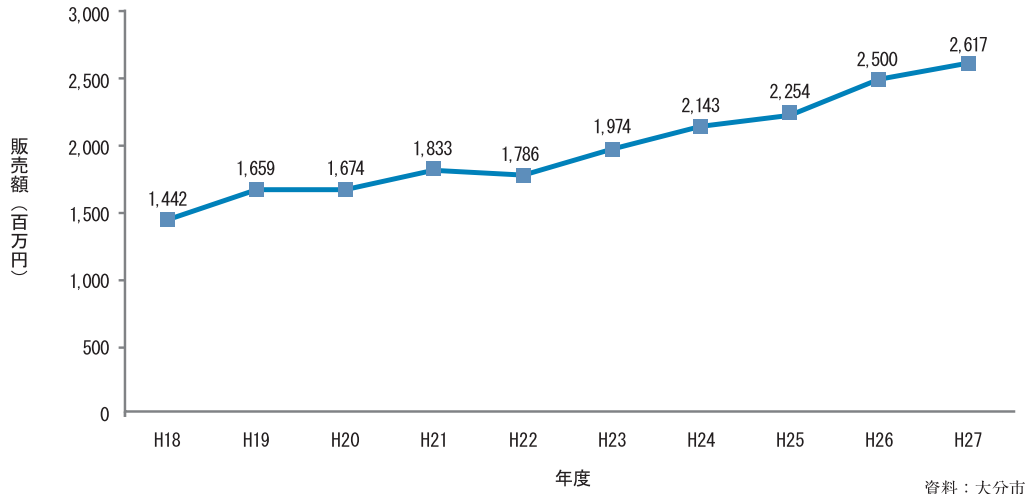
施策の体系

基本方針

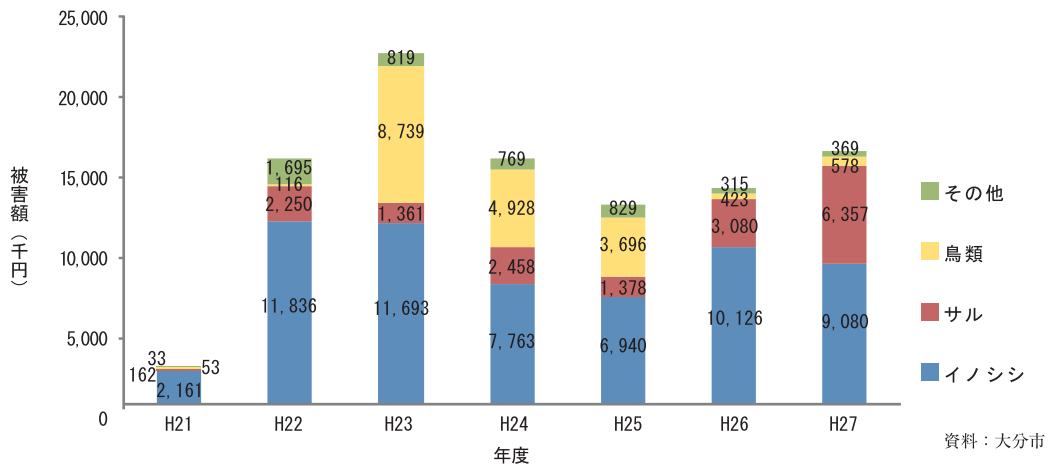
計画の推進

資料編

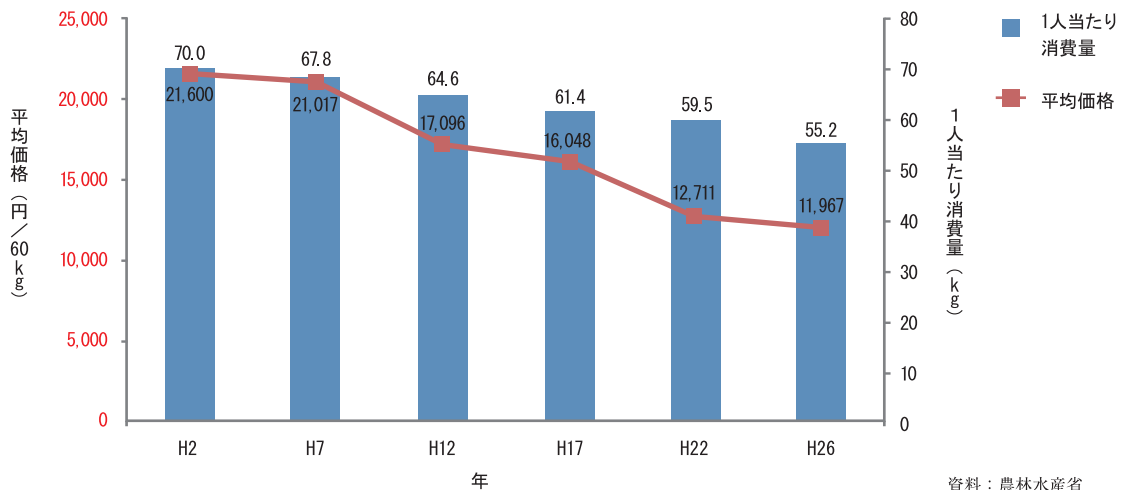
直販所・加工所年度別年間販売額



有害鳥獣被害状況



主食用米の価格の推移と1人当たりの消費量 (全国)



林業

概要

本市の森林面積は、市域面積の約半分を占め、所有規模は、小規模で分散的であり、大規模な林業経営は少ない状況となっています。森林のうち、スギやヒノキなどの人工林*が約4割を占め、戦後に植栽された人工林は成長し、木材として利用可能な森林が増加している状況です。

原木椎茸*については、水稲等の他品目との複合経営*が多く、主に大南や野津原地域で生産されています。

また、林業を営む上で重要な生産基盤となる林道については、集落間を結ぶ生活道としても利用されるなど多目的な活用を期待されており、現在、計画的に開設、舗装等を行っている状況です。

現状及び課題

- ◆長期にわたる木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等により、林業経営は依然として厳しい状況が続いています。そのため、木材産業や森林経営の活性化を図り、木材需要の拡大や担い手を確保する取組が必要です。
- ◆採算が合わないことなどから放置された森林が増加しており、木材の安定供給や森林の多面的機能の低下が懸念されます。そのため、林業事業者*の経営基盤強化や市民、企業・団体等の森林保全活動などにより、森林整備を持続的に行うための体制づくりが必要です。
- ◆椎茸生産者の高齢化や後継者不足が進み、生産力の低下が懸念されます。そのため、新たな担い手の確保とともに、気象条件に左右されない安定供給体制の整備や消費拡大への取組が必要です。

(1) 保有形態別森林面積

(平成26年12月末現在)

保有形態	総面積		立木地		人工林率(%) (B/A)	
	面積(ha) (A)	比率(%)	人工林(ha) (B)	天然林(ha)		
私有林	21,009	86.0	7,793	10,830	37.1	
公有林*	県有林	2,029	8.3	1,568	325	77.3
	市有林	791	3.2	382	372	48.3
	計	2,820	11.5	1,950	697	69.1
国有林*	618	2.5	472	108	76.4	
計	24,447	100.0	10,215	11,635	41.8	

資料：大分市

(2) 素材*生産及び主な森林整備の状況

(平成28年3月末現在)

素材生産量 (m³)			間伐*面積 (ha)	植栽面積 (ha)
針葉樹	広葉樹	計		
10,530	889	11,419	165	4

資料：大分市

(3) 椎茸の生産状況

(平成28年3月末現在)

乾・生の別	生産量(t)	生産額(千円)	生産者数(戸)
乾椎茸	39.5	205,045	112
生椎茸	141.4	126,977	10

資料：大分市

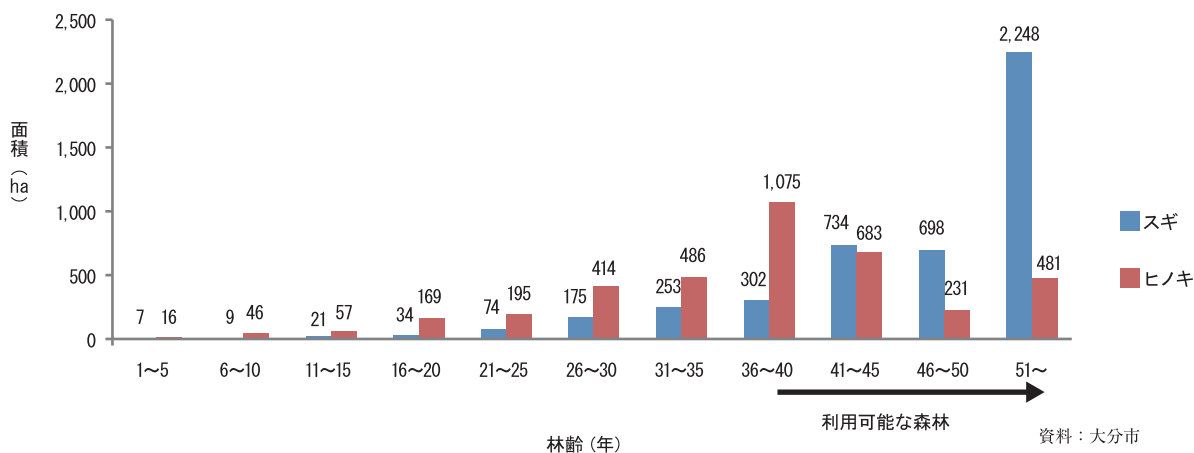
(4) 林道の整備状況

(平成28年3月末現在)

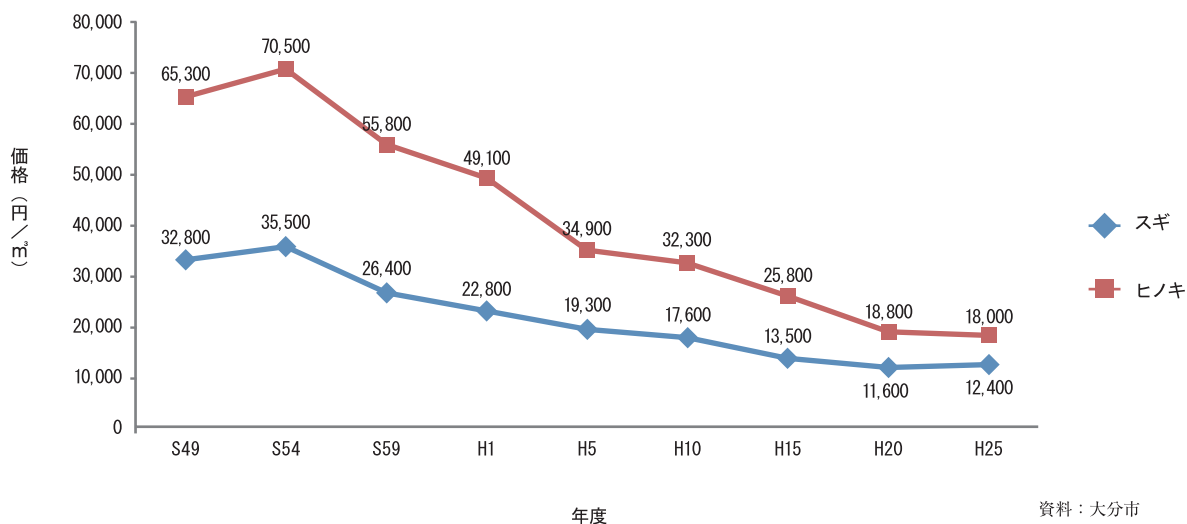
路線数 (路線)	開設延長 (km)	舗装延長 (km)	舗装率 (%)
69	131.4	107.4	81.7

資料：大分市

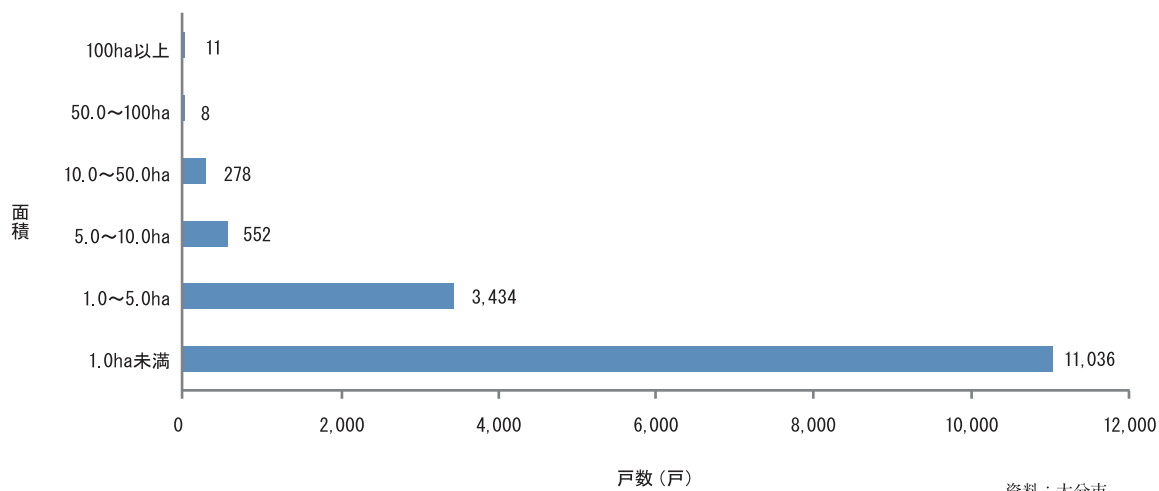
林齢*別面積



素材生産価格(円/m³)の推移 (大分県)



森林の所有規模別林家数(総数：15,319戸)



水産業

概要

本市の水産業は、なだらかな海岸線の広がる別府湾域やリアス式海岸の豊後水道域における海面漁業*と、県内の二大河川である大分川および大野川での内水面漁業*とに大別されます。

海面漁業のうち、別府湾域では、サワラやマダイなどを対象とした刺し網漁業*、マダコを対象としたたこつぼ漁業の他に延縄漁業*や一本釣り漁業*などが営まれています。また、豊後水道域では、マアジ、マサバ、ブリなどを対象とした一本釣り漁業やアワビ、サザエ、クロメなどを対象とした採貝藻漁業*などが営まれています。

なかでも、一本釣りや刺し網漁業といった資源の維持が比較的可能な漁業が営まれていることが本市の海面漁業の特徴です。

内水面漁業では、アユ、ワカサギ、ウナギ、モクズガニなどを対象とした漁業が行われており、主に大分市内で消費されています。

このように本市では多種多様な魚介類*が漁獲され、特に、高級魚として高い評価を得ている「関あじ・関さば」は全国ブランドとして有名です。

現状及び課題

- ◆漁業者の高齢化と後継者不足は、今後の漁業活動において深刻な状況です。そのため、漁業者の所得向上や就業環境の改善に取り組むとともに、新規就業者*対策を推進し、担い手の確保・育成を図ることが必要です。
- ◆他地区漁業者との競合等による漁獲量の減少、漁業資材費等経費の高騰、魚離れや消費者ニーズの多様化、安価な輸入水産物による魚価の低迷傾向が続くなどの影響で、漁業経営が悪化しています。そのため、関係機関・団体が一体となって、資源の増大、消費拡大、流通体制の効率化を図るとともに、新鮮な水産物を安定供給できる体制づくりが必要です。
- ◆海面漁業では、海岸線の埋め立てなどの開発に伴う藻場の減少、内水面漁業では河川改修や生活排水の流入などの影響で、漁場環境の悪化が進んでいます。そのため、地域の特性に即した水産基盤整備や環境保全等に取り組み、漁場の回復や改良を進め、漁場環境の改善を図ることが必要です。

(1) 海面漁業主要魚種漁獲状況

(平成27年12月末現在)

魚種	漁獲量 (t)	漁獲金額 (千円)
ブリ	258.8	105,659
マアジ	189.0	273,158
内 関あじ	185.8	270,496
タチウオ	113.5	134,415
サワラ	82.4	45,179
マサバ	81.7	114,489
内 関さば	77.9	111,260
イサキ	52.6	103,115
マダイ	52.2	37,573
マダコ	29.3	23,195
サザエ	26.5	15,257
ヒジキ	19.8	16,156
その他	239.6	157,112
合計	1,145.4	1,025,308

資料：大分市

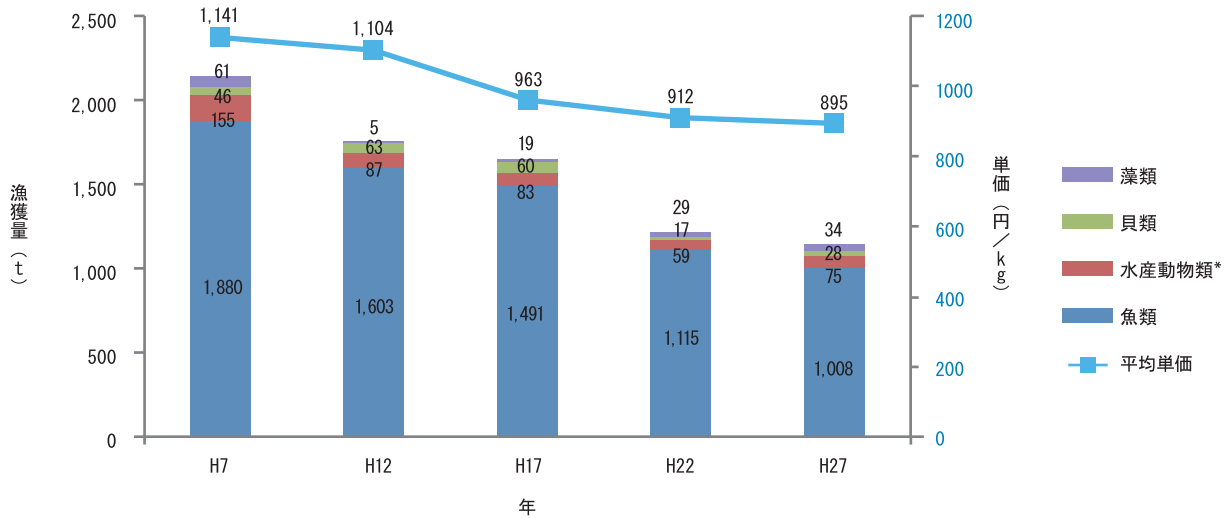
(2) 内水面主要魚種漁獲状況

(平成27年12月末現在)

魚種	漁獲量 (t)
アユ	28.4
ワカサギ	8.0
フナ	4.7
ウナギ	3.7
モクズガニ	2.7
その他	14.7
合計	62.2

資料：大分市

種別漁獲量と単価の推移(海面漁業)



資料：大分県漁業協同組合各支店・取次店

漁業協同組合員数の推移(海面漁業)



資料：大分県漁業協同組合各支店・取次店